

令和6年度

地域経済状況調査報告

池田町商工会

I. 調査目的

新型コロナウイルス感染症が5類移行となる一方、依然、物価高騰・人手不足の課題に直面しており、まだまだ厳しい状況にあります。こうした課題を乗り越えるためには、中小企業が環境変化を乗り越え、経営資源を確保して生産性の向上に繋げていくための取組みや成長につながり得る投資行動とそのための資金調達が重要となります。

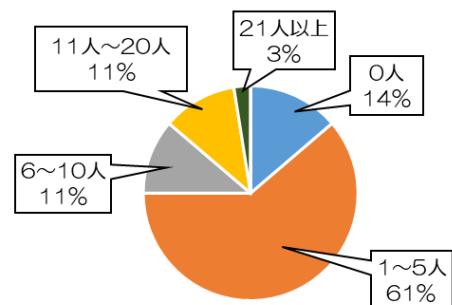
池田町商工会では、池田町内事業者の事業計画や戦略立案、経営改善に役立つ基礎データとして活用いただく目的で、毎年「地域経済状況調査」を実施しています。また、本調査により、商工会としても当町の小規模事業者の事業概況やニーズについての確に把握し、今後の経営指導及び町内事業の活性化に活用することが期待できます。

II. 調査概要

調査対象者	池田町内の小規模事業者
調査方法	ヒアリング（聴取式）または、アンケート用紙に記入していただく形（留置式）で実施
調査数	80社 ※池田町商工会会員小規模事業者から抽出 （建設業関連：20、製造業関連：20、流通販売業関連：20、サービス業関連：20）
調査項目	業種、景況感（短期・中期）、経営課題（売上、利益動向、財務動向、人材動向、事業承継動向）等
調査期間	令和6年9月
比較対象 （参照）	①岐阜県：岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」 R6年7～9月期（来期見通しは、R6年10～12月期の見通し） ②全国：「中小企業景況調査」（中小企業基盤整備機構） R6年7～9月期（来期見通しは、R6年10～12月期の見通し）

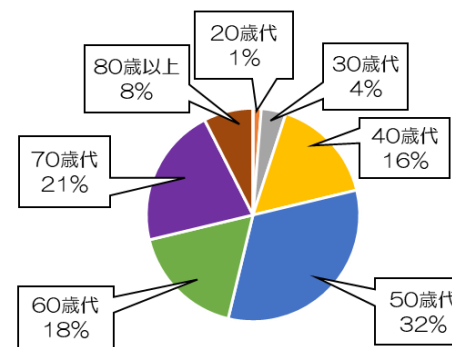
III. 調査結果

1. あなたの事業に関わる従業員数は何人ですか（役員・家族従業員含む）。



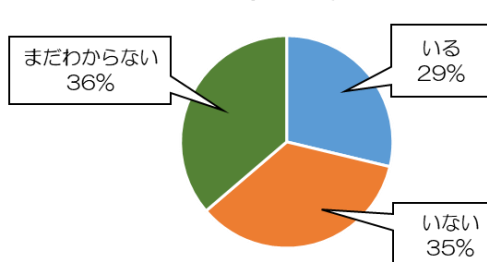
全業種の従業員数は「0～5人」が75%となっている。代表者のみもしくは代表者と数人の従業員での中小零細企業が多いことが窺える。特に、製造業は他の業種に比べて「0～5人以下」の占める割合が45%と低く、他の業種に比べて従業員数が多い中で、事業展開している。

2. あなたの事業の経営者の方の年代は、次のうちどれですか。



全業種の小規模事業者の経営者の年代は、60歳代以上が47%を占めている。前年度の調査から見ると、3ポイント増となっている。全国的に見ても中小企業経営者の高齢化は深刻であり、廃業による雇用や技術の喪失を防ぎ、世代交代等を契機とした成長を進めるため、事業承継が一層重要となっている。

3. あなたの事業に、後継者はいらっしゃいますか。



「後継者がいる」と回答した割合は29%で、後継者が「いない」・「まだわからない」が71%である。経営者自身がまだ若くても、事業承継の準備には3年から10年程かかると言われており、円滑な事業承継には時間がかかるということを念頭に置いておくことが必要である。

4. 今期の状況は前期と比較してどうですか。

「D1」とは・・・「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を引いた数。「悪い」が多いとマイナスになります。

【池田町内と他地域との比較】

	〔建設業〕			〔製造業〕		
	池田町	岐阜県	全国	池田町	岐阜県	全国
売上額	35.0%	35.7%	13.5%	20.0%	-1.6%	14.2%
採算（経常利益）	5.0%	39.5%	21.8%	25.0%	23.6%	25.5%
業況（自社）	5.0%	32.9%	11.0%	25.0%	22.1%	15.4%

	〔流通販売業〕			〔サービス業〕		
	池田町	岐阜県	全国	池田町	岐阜県	全国
売上額	20.0%	-6.2%	15.8%	0.0%	2.7%	-1.9%
採算（経常利益）	25.0%	26.6%	27.1%	45.0%	17.9%	21.7%
業況（自社）	5.0%	25.2%	16.7%	20.0%	-4.4%	-9.7%

町内事業者の売上額は、建設業が良好なのに対し、その他の業種は売上額が前期と比べて悪化している。特に全国や岐阜県と比べて、製造業と流通販売業の厳しさが際立っている。採算（経常利益）においても建設業は良好であるが、他の業種は採算が悪化している。前期と比較した今期の業況は建設業と流通販売業が良いと回答するも、製造業とサービス業は良くないと回答している。

5. 来期の状況は今期と比較してどうですか。

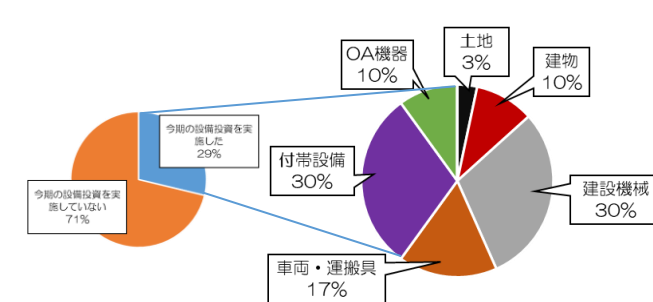
【池田町内と他地域との比較】

	〔建設業〕			〔製造業〕		
	池田町	岐阜県	全国	池田町	岐阜県	全国
売上額	0.0%	45.0%	13.2%	10.0%	-9.9%	12.2%
採算（経常利益）	-5.0%	31.4%	20.3%	10.0%	18.5%	21.5%
業況（自社）	-10.0%	31.0%	11.7%	5.0%	19.6%	10.5%

	〔流通販売業〕			〔サービス業〕		
	池田町	岐阜県	全国	池田町	岐阜県	全国
売上額	5.0%	20.3%	11.7%	15.0%	1.6%	-3.0%
採算（経常利益）	-5.0%	29.7%	23.1%	45.0%	19.6%	19.2%
業況（自社）	0.0%	30.1%	-9.9%	20.0%	-4.5%	-5.6%

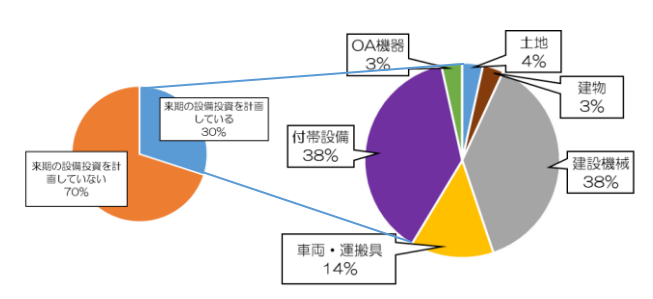
今期と比較した来期の状況について、建設業は今期の勢いがとまり悪化の方向を予想している。製造業・流通販売業は一部悪化予想があるものの今期よりも良くなる予想である。サービス業以外は全国や岐阜県内と比べても悪化のレベルが低いが、サービス業は売上額・採算・業況とも今期よりもさらに悪化すると予想しており、いかにして厳しさを打破していくかが課題である。

6. 今期の新規設備投資は、どのような状況ですか。



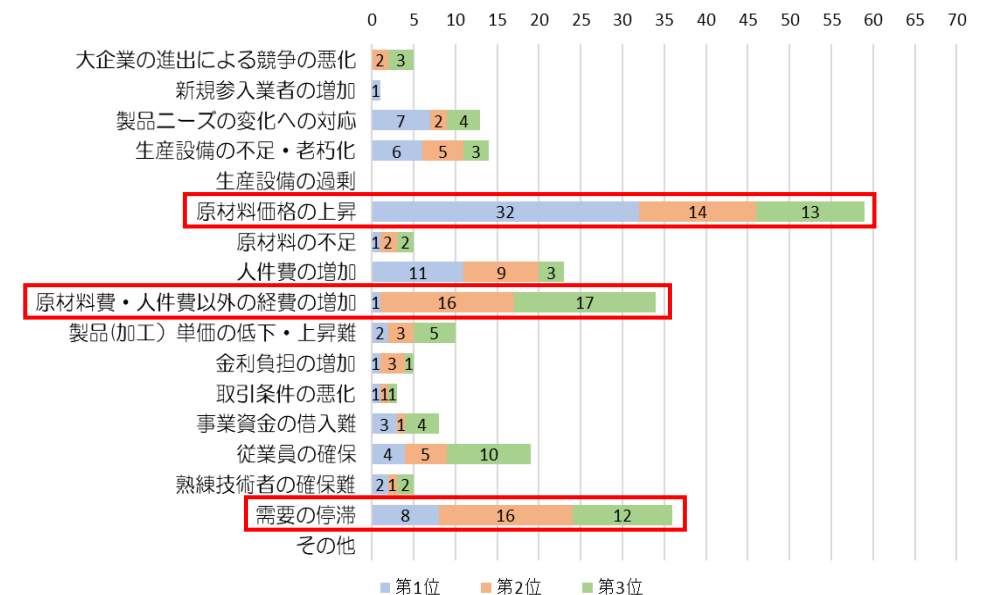
今期の新規設備投資の実施状況は、前年度調査と比べ4ポイント増の29%となっている。特に「建設業」は平均を大幅に上回る45%が新規設備投資をしたと回答している。

7. 来期の新規設備投資は、どのような状況ですか。



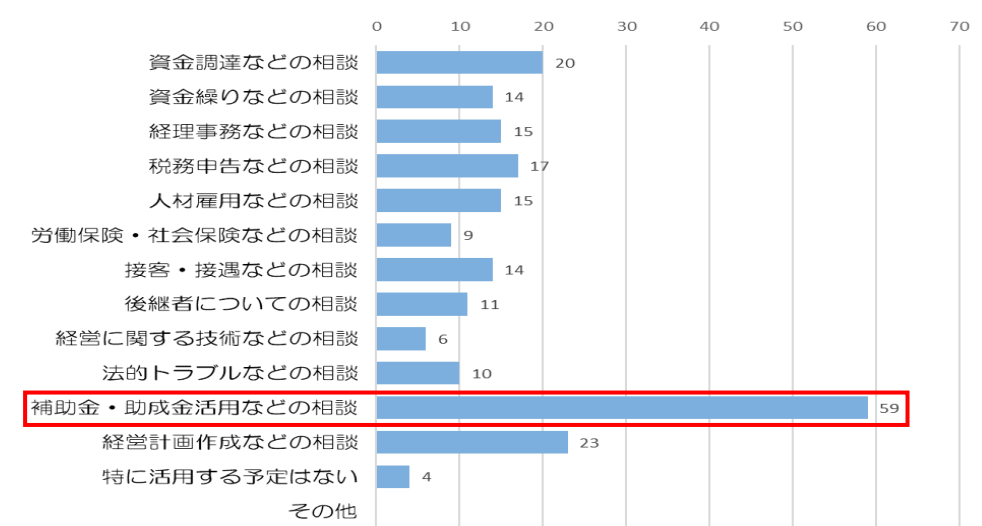
来期の新規設備投資として、30%が新規設備投資を計画している。前年度と比べ、「建設機械」・「付帯設備」に対する新規設備投資を計画しているところが多いことが目につく。

8. 直面している経営上の問題点を3つ以内で選び、重要度の高い順に順位を記入してください。



現在直面している経営上の問題点の総数としては、前年度調査と同様「原材料価格の上昇」がもっとも多い。2位は「必要な停滞」（前年度3位）、3位は「原材料費・人件費以外の経費の増加」（前年度2位）となっている。コロナ禍から経済活動が正常化に向かっているものの、原材料価格やエネルギー価格の高騰、人件費の上昇等、コスト負担は増加が続き、事業者にとっては厳しい状況が引き続き続いている。コストを抑制するために例えば仕入れ先の見直しをする等だけでなく、コストを把握した適正な価格の設定により、収益確保につなげることが生き残りのために重要となっている。

9. 今後、商工会をどのように活用したいですか。



今後、商工会の活用内容としては、各種相談活用がある中、「補助金・助成金活用などの相談」への回答が前年度に続き多い。補助金を利用することで、資金繰りへの負担を軽減し、投資リスクを抑えることができる。しかし、補助金のルールをしっかり理解し、適正に活用しないと、かえって経営の負担になったり、無駄な投資をしてしまったりすることもある。池田町商工会としても各種補助金等についての情報を事業所様に適宜提供しています。また、事業所様から各種相談を頂いた際には、ご訪問等してお悩みやお話を聞かせて頂き、今後どのようにサポートすると良いのか、支援方法についてご説明・ご提案させて頂いております。事業所様に寄り添った「身近なパートナー」として、各種支援や役立つセミナー等を行っておりますので、お気軽にご相談・ご参加いただき、自社の経営に生かして頂ければと思います。